

令和3年(2021年)9月1日
国民健康保険運営協議会資料

吹田市国民健康保険第2期データヘルス計画
中間評価(案)について(報告)

1 計画策定の背景

データヘルス計画は、医療保険者が健診やレセプト(診療報酬明細書)などの健康医療情報の分析に基づいて保健事業をPDCAサイクルで効果的・効率的に行う実施計画です。

本市では市民の健康の保持増進および医療費の適正化を目指すことを目的として平成28年3月に第1期データヘルス計画、平成30年3月に第2期データヘルス計画を策定し、保健事業に取り組んでいます。

第2期データヘルス計画の計画期間は、第3期特定健康診査等実施計画と合わせて平成30年度から令和5年度までの6年間としており、中間年である令和2年度に、中間評価を行いました。

2 中間評価の方法

国立循環器病研究センターと連携のもと、平成29年度から令和元年度までに実施した各保健事業の実績データやレセプトデータなどから実施状況の振り返りや国民健康保険被保険者の健康状態等の分析を行い、それぞれの事業について、評価を行いました。また、その評価に基づいて令和3年度から令和5年度に実施する保健事業の課題や改善策を検討しました。

実績評価、成果指標 目標値に対する実績値を評価

- A : 改善している
- B : 変わらない
- C : 悪化している
- D : 評価困難

事業評価基準 目標の達成状況を評価

- A : 目的を達成
- B : 目的は達成できていないが達成の可能性が高い
- C : 目的の達成は難しいがある程度の効果はある
- D : 目的の達成は困難で効果があるとは思えない
- E : 評価困難

3 評価の概要

事業名	事業評価	目標実現に向けた令和3年度以降の 取り組み、改善策	参照
特定健康診査未受診者対策・ 新規対象者対策	B	・勧奨対象者や勧奨方法を見直し、より効果的な勧奨を実施	P 7
特定保健指導実施率の向上・ 受診勧奨の実施	A	・吹田市医師会へ引き続き協力を依頼 ・目標値を国、府と同じ60%に変更	P 10
糖尿病性腎症重症化予防事業	B	・対象医療機関の拡充、健診未受診の治療 中断者へのアプローチなど運営方法を見 直す	P 13
非肥満 血圧・血糖高値者 受診勧奨事業	B	・対象者や実施方法を見直しながら継続す る	P 17
生活習慣病予防の啓発	B	・30歳代健康診査受診者に健康啓発パンフ レットを配布し、基準に該当する者には受 診勧奨を実施 ・国立循環器病研究センターと連携し心不 全予防の啓発等を実施	P 24
がん検診	C	・LINEで登録者に受診可能な検診の案 内を届けるセグメント配信を開始 ・「早わかりガイド」を作成し全戸配布す る	P 37
たばこ対策	B	・働く世代へのSNS等を活用した啓発を 検討	P 40
成人歯科健康診査	A	・30歳代健康診査受診者に配布するパンフ レットにオーラルケアについて掲載 ・LINEでセグメント配信を開始 ・受診対象年齢の引き下げや未受診者勧奨 について検討	P 45
30歳代健康診査	C	・個別受診勧奨方法を見直し、満30歳の 対象者へ受診勧奨を実施 ・LINEでセグメント配信を開始	P 49

4 今後のスケジュール

運営協議会で報告後、市ホームページで公表するとともに、本計画をあらゆる機会を通じて周知、啓発を図ります。